

ソニー教育財団「ソニー幼児教育支援プログラム」  
全国 111 園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

## 研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催 6月18日(土) すくすく保育園(大阪府)

公開保育・研究発表などを通じ県内外の保育関係者に向けて独自の保育実践を公開

記念講演： 東京大学大学院 教授 秋田 喜代美氏

後援： 文部科学省、厚生労働省、大阪市教育委員会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2015年度「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた 社会福祉法人晴朗会 すくすく保育園(大阪府大阪市天王寺区、園長:松岡 洋子)で、「最優秀園実践発表会」を開催いたします。

「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育研究を推進したソニー創業者 井深大の考えを受け継ぎ、2002年から行っている園への教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に、3歳から5歳児の保育実践とその方向性を募集し、2015年度は111園よりご応募いただきました。



今回、「最優秀園実践発表会」を行う すくすく保育園 は、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)ら5氏による審査、現地調査を経て「最優秀園」を受賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育む取り組みや成果について、公開保育、研究発表などを通じて、先生方を中心とする保育関係者のみなさまにご紹介いたします。

### 「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園実践発表会(公開保育・研究発表) 開催概要

#### 社会福祉法人晴朗会 すくすく保育園(大阪府大阪市天王寺区)

研究主題： 「科学する心を育てる」～科学する心が育まれる場面を捉えて考察する～

開催日時： 2016年6月18日(土)9:00～16:30

会場： ■公開保育  
本園： 天王寺区国分町18番3号  
電話 06-6771-2590  
分園： 天王寺区国分町16番20号  
■協議会  
南煙会館： 天王寺区国分町16番4号

時程： 【公開保育】 9:30～11:00  
【研究発表】 11:25～11:55  
【研究協議】 12:55～14:30  
【記念講演】 14:50～16:20

記念講演： 東京大学大学院 教授 秋田 喜代美氏  
演題 「科学する心」を支える保育者の在り方

参加費： 無料



※ 開催についての詳細は、ホームページに掲載の「二次案内」をご覧ください。直接園にお問い合わせください。

[https://www.admin.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2016\\_sukusuku\\_02.pdf](https://www.admin.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2016_sukusuku_02.pdf)

※ すくすく保育園の「最優秀園論文」全文はホームページでお読みいただけます。

[http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015\\_pre\\_sukusuku.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015_pre_sukusuku.pdf)

## 「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園 論文

社会福祉法人晴朗会 すくすく保育園(大阪府大阪市天王寺区)

論文テーマ: 科学する心を育てる ～“浮く”と“あがる”の違いって?～

論文全文 ([http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015\\_pre\\_sukusuku.pdf](http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015_pre_sukusuku.pdf))

### 【審査委員による講評】

すくすく保育園は、「科学する心」が育まれる機序への理解を深めることに挑戦しました。子どもたちの心の体験を読み取るために、好奇心・疑問・観察・実践・情報交換・試行錯誤・達成感・継続・興味という9つの観点を、園全体で用いる共通指標と位置付けて、探究と実践に熱心に取り組まれています。今年度まで積み重ねてきた記録や園の実情に沿って、0歳から5歳までの子どもたちが、それぞれに興味をもった「凧揚げ」の「揚がる」ということに焦点を当てました。年齢ごとの遊び方と感じ方の特徴を明らかにし、「揚がる」ことに関して、年齢特有の豊かな実体験が存在することがわかりました。「揚がる」ことに焦点を絞った活動の中にも、上記9つの観点多様な経験があることを見出し、こうした体験を通して「科学する心」が育まれて行く知見が披瀝されています。これらの取り組みは、「科学する心」の萌芽を科学的に探究しようとする優れた実践活動です。また、限定された園の環境を克服し、子どもたちに「科学する心」を育む創意工夫が高く評価されました。(抜粋)

### ■ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集し、その実現のための支援を行っています。全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年約100園のご応募をいただいています。

審査委員長の小泉英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)をはじめとする各界の有識者により、予備審査、中間審査を経て、入選候補園に関しては現地調査も行います。

入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び、毎年『実践事例集』(冊子)を発行。さまざまな実践事例をホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

### ■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

### <報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>